



平成27年3月1日
No.78

編集人
公益社団法人
兵庫県精神福祉家族会連合会
本條義和

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL. 078-891-3871 / FAX. 078-891-3872
Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hyokaren.or.jp>

兵家連は創立45周年を迎えました

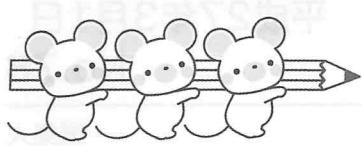
兵家連会長 本條義和

平成26年9月25日、当会は創立から45周年を迎えました。又、翌月の10月10日は東京オリンピックの開会式が代々木の国立競技場で行われて50周年となる記念日でした。当会は、45周年を記念して2回にわたり記念座談会を開催し、創立40周年に当たる平成21年からの過ぎ越し5年を振り返りながら、平成32年の創立50周年に向け現在家族会が抱える諸問題についても話し合いました。（座談会については、6ページ～7ページをご参照ください）

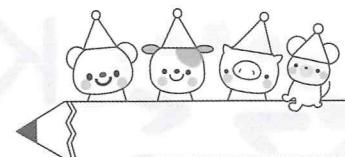
さてここ数年、障害福祉施策が大きく変わりました。障害者基本法が改正されましたし、障害者自立支援法も改正され障害者総合支援法となりました。障害者差別解消法が制定され、精神保健福祉法や障害者雇用促進法の改正も行われました。障害者権利条約の批准も行われ、昨年の平成26年2月から日本国内でもその効力が生じることになりました。中でも、精神保健福祉法の改正によって明治33年（1900年）に制定された精神病者監護法以来の保護者制度が廃止になったことは大きな成果だと思います。

しかし残された課題も又大変大きなものでした。保護者制度がなくなったとはいえ、医療保護入院における家族の同意要件は残りました。又、本人の権利擁護を担う代弁者制度等は先送りになりました。JR運賃等公共交通機関の運賃割引や福祉医療費助成等にみられる障害種別間格差、いまだ根強く残る偏見差別の問題等々、喫緊の課題が山積しています。

これらの問題の多くは、みんなねっとを中心とした全国規模の要望活動をしていかないとなかなか解決しないと思います。幸い、みんなねっとではプロジェクトチームを立ち上げ、交通運賃割引実現を目指し要望活動を展開しています。当会も、みんなねっとや都道府県連とも連携し、本人だけでなく家族全体が支援を受けながら、地域で当たり前の生活ができる社会を目指していきたいと考えています。そのためにも、支え合い、ともに学び、みんなで声を上げていくことが大事です。会員各位はもとより、読者の皆様のご支援協力をお願い申し上げます。



ご 報 告



第7回 全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと石川大会

笑って 語って つながって~今こそめざそう!共に生きる社会を~

第1日目	10月16日(木)
10:00	受付
11:15	オープニングセレモニー
12:00	開会式
12:45	休憩(15分)
13:00	基調講演 「あなた病気の人、私治す人」から 『私も家族の一人です』と言えるように なって見えてきたこと 講師／夏刈 郁子 氏 児童精神科医・やきつべの径 診療所 医師
14:15	活動報告 「障害者施策の動きと私たちが求める家族支援」 報告者／本條 義和 氏 公益社団法人 全国精神保健福祉社会連合会理事長
14:45	休憩(20分)
15:05	行政報告 「精神保健福祉行政の現状」 報告者／富沢 一郎 氏 厚生労働省社会・援護局障害福祉部 精神障害保健課課長
15:35	記念講演 「精神科利用法一叩けよ、さらば開かれんー」 講師／川崎 康弘 氏 金沢医科大学精神神経科学教授
16:50	事務連絡 移動
18:30	懇親会 金沢エクセルホテル東急

第2日目	10月17日(金)
9:00	受付
9:30	分科会 第1分科会 家族会活動 「何が活力の源か?」 ～家族会活動これからの10年～
	第2分科会 就労促進 「障害があっても働く」 ～働くことを妨げているのは何か～
	第3分科会 偏見・差別 「偏見・差別と向き合って」 ～精神障害への社会的偏見・差別について～
	第4分科会 家族支援 「家族への支援について」 ～家族が望む「家族支援」とは～
	第5分科会 障害のある本人の活動 「元気でやっています」 ～福祉サービスを上手く使って～
11:30	休憩 移動
11:45	閉会式 分科会報告 大会宣言 次期開催地挨拶

みんなねっと近畿ブロック家族の集い!! 「訪問による当事者と家族への支援はどうすれば実現できるか」

日時：平成26年11月16日(日)13時～16時

場所：奈良県社会福祉総合センター6階大ホール(近鉄畝傍後陵前駅下車5分)

京都ノートルダム女子大学 佐藤 純 准教授、DPI日本会議事務局員 浜島恭子氏、みんなねっと 本條義和理事長の3名から問題提起があり、みんなねっと副理事長 木全義治(愛家連会長)の司会のもと3氏の問題提起と参加者との活発な討論がありました。

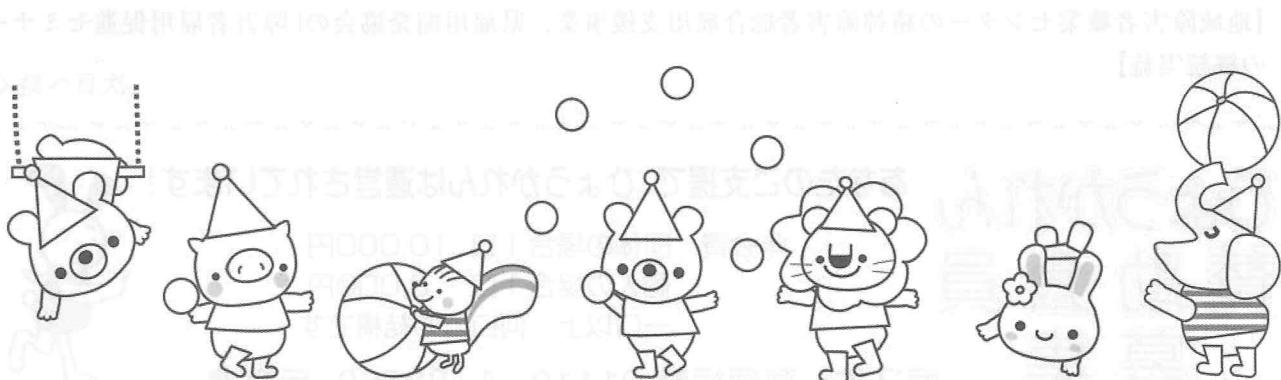
兵庫県議会 および 神戸市議会議員精神保健研究会会員の皆様

兵庫県議会議員精神保健研究会会員名簿 (26.7.11 現在)

会派	会員 (◎は世話人) 計 53 名			
自由民主党 (28)	日村豊彦 (豊岡市)	釜谷研造 (加古川市)	永田秀一 (南あわじ市)	藤原昭一 (小野市)
	◎ 山本敏信 (高砂市)	伊藤傑 (須磨区)	◎ 小田毅 (加西市)	上山隆弘 (たつの市・揖保郡)
	松本隆弘 (明石市)	加田裕之 (長田区)	井上英之 (加古川市)	原テツアキ (淡路市)
	上田良介 (美方郡)	藤本百男 (加東市)	内藤兵衛 (多可郡)	北野実 (姫路市)
	小西隆紀 (篠山市)	高橋しんご (東灘区)	仲田一彦 (三木市)	大谷勘介 (尼崎市)
	安福英則 (朝来市)	大前はるよ (西宮市)	川井田清信 (伊丹市)	榎本和夫 (明石市)
	北浜みどり (灘区)	森脇保仁 (宝塚市)	加茂忍 (川西市・川辺郡)	石川憲幸 (丹波市)
民主党・ 県民連合 (9)	永富正彦 (加古郡)	黒田一美 (垂水区)	岸口実 (明石市)	◎ 掛水すみえ (西宮市)
	上野英一 (神崎郡)	山本千恵 (伊丹市)	前田朋己 (東灘区)	盛耕三 (相生市)
	越田謙治郎 (川西市・川辺郡)			
公明党・ 県民会議 (9)	合田博一 (伊丹市)	下地光次 (尼崎市)	谷井いさお (尼崎市)	◎ 大野ゆきお (姫路市)
	越田浩矢 (長田区)	島山清史 (須磨区)	◎ 北条やすつぐ (姫路市)	あしだ賀津美 (北区)
	岸本かずなお (加古川市)			
日本共産党 (3)	きだ結 (東灘区)	◎ ねりき恵子 (宝塚市)	宮田しづのり (尼崎市)	
県政クラブ (3)	石原修三 (西区)	和田有一朗 (垂水区)	中田英一 (三田市)	
無所属 (1)	徳安淳子 (尼崎市)			

神戸市議会議員精神保健研究会会員名簿 (26.2.19 現在)

会派	会員 (◎は世話人) 計 53 名				
民主党 (12)	前島浩一	◎ 藤原武光	池田りんたろう	崎元祐治	大井としひろ
	川内清尚	川原田弘子	岩田嘉晃	大寺まり子	平木博美
	伊藤めぐみ	人見誠			
公明党 (12)	吉田謙治	大澤和士	山田哲郎	北川道夫	◎ 壬生潤
	藤本浩二	向井道尋	沖久正留	菅野吉記	軒原順子
	堂下豊史	高瀬勝也			
日本共産党 (9)	金沢はるみ	森本真	◎ 松本のり子	大かわら鈴子	山本じゅんじ
	赤田勝紀	西ただす	花房ふみこ	味口としゆき	
自由民主党 (7)	安井俊彦	平野昌司	吉田基毅	◎ 安達和彦	守屋隆司
	むらの誠一	平井真千子			
新世代こうべ (4)	大石よしのり	上原みなみ	◎ 山下てんせい	池本真	
自民党神戸 (4)	大野一	坊池正	◎ 山口由美	かわなみ忠一	
住民投票☆市民力 (2)	浦上忠文	林英夫			
新社会党 (2)	あわはら富夫	小林るみ子			
日本維新の会 (1)	北山順一				



精神障害者の福祉施策充実に関する 要望書への回答

※【】内が県回答の要旨（詳しくは、ホームページに掲載）

(当事者及び家族支援関連に関する要望)

1. 精神障害者相談員の法制化

【今後も国に提案していく】

2. 当事者活動、家族会活動に対する支援

【今後も、健康福祉事務所（保健所）、精神保健福祉センターで、相談に応じ、研修会も実施する。当事者活動についてはピアサポーター活用や交流会を通して支援していく】

3. メリデン版訪問による家族支援

【家族支援については電話相談来初相談のほか訪問による家族支援も、健康福祉事務所が今後も実施していく】

4. 精神科訪問看護等訪問型医療福祉

【24年度診療報酬改定により精神科訪問看護の対象が入院中以外の患者と家族に拡大された。又地域における協議会に働きかける】

(グループホーム等退院促進に関する要望)

5. 病院敷地内のグループホーム、グループホームの報酬単価

【病院敷地内厳格な判断基準を設けている。病棟転換は今後の検討課題。報酬単価の引き上げは国に提案】

(啓発・教育に関する要望)

6. 義務教育段階から精神疾患を含め心の教育実施

【学習要領等国及び他府県の動向に注視】

7. オーストラリアにみられる教員向けの包括的な心の健康プログラム

【既に実施している教員向け研修を今後も実施。ただし、包括的な心の健康プログラム（Mind Matters）については内容・効果を検討する】

8. 自治会での精神障害者的人権及びこころの健康学習

【障害者的人権についても学習するよう支援している。又、教育委員会の指導主事等に対し、精神保健福祉センターが作成した資料を提供している】

(就労に関する要望)

9. 社会的雇用（援助つき雇用）

【今後も国の動きを注視】

10. 精神障害者等の雇用促進のため事業協同組合設立整備の助成事業の充実

【事業所管部局に伝達】

11. 企業に対する理解促進の研修

【地域障害者職業センターの精神障害者総合雇用支援事業、県雇用開発協会の「障害者雇用促進セミナーの継続実施】

(次頁へ続く)

**ひょうかれん
賛助会員
募集**

あなたの支援で、ひょうかれんは運営されています！

年会費 団体の場合 1口 10,000円

個人の場合 1口 3,000円

一口以上、何口でも結構です

振込先 郵便振替 01110-4-83568 兵家連



(前頁からの続き)

(医療・年金に関する要望)

12. 精神科初期救急及び合併症対応の医療機関の整備拡充

【初期救急は当番病院制度で対応、合併症については一般科と精神科との間で調整】

13. 自立支援医療の自己負担無料化

【国に提案】

14. 医療費助成の対象を精神2級まで拡大

【現在の1級までを継続】

15. 障害年金の級を有期認定から永久認定に変更

【現在の制度を維持】**(福祉サービスの格差是正に関する要望)**

16. JR運賃等障害種別間格差是正

【交通運賃の割引、青い鳥はがきの交付は、国、関係機関に引き続き要望。バスについては県として関係団体に働きかけている】

第10回兵庫県障害者芸術・文化祭 平成26年度兵庫県障害者福祉大会

日 時: 平成26年11月29日(土)13:00~16:00 場 所: たつの市総合文化会館アクアホール

今年の芸文祭は、たつの市総合文化会館アクアホールで開催されました。

プログラム**13:00 オープニングステージ**

■子どもミュージカル劇団 FUNKYキッズ

第10回兵庫県障害者・芸術文化祭 第1部

■県立龍野北高等学校

■揖保川病院

■Present Garden to

■赤穂精華園

平成26年度障害者福祉大会

兵庫県知事表彰

障害者3団体(兵家連、

兵身協、育成会)代表者表彰

第10回兵庫県障害者・芸術文化祭 第2部

■播磨特別支援学校

■姫路聴覚特別支援学校

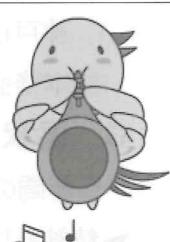
■姫路特別支援学校分教室

■西はりま特別支援学校

16:00 閉会**おめでとうございます****兵家連会長表彰受賞の皆さん**

個人の部	住 所	所 属
宮崎 宏興	岡山県備前市	NPO法人いねいぶる
竹本 健治	神崎郡	NPO法人中播磨峰の会
大北 美千代	神崎郡	峰の会作業所
乙野 勝子	美方郡	のぎく家族会
山瀬 洋治	姫路市	NPO法人えんじえる会
初田 美千子	加西市	はとの会
亀井 賢一	丹波市	(地活センター)希望の家
中津 強	姫路市	NPO法人はりま福祉会

団体の部	所在地	代表者
NPO法人いねいぶる	たつの市	宮崎 宏興



「兵家連」創立45周年記念座談会

前回の『兵家連40周年の歩み』に引き続き、今回もその後の5年間の記録とこれからの進む道を考えることをテーマに座談会を開催した。出席者は編集委員と有志家族会員が9名で2回開催した。

1. 障害者制度改革の経緯

平成21年12月に発足した「障害者制度改革推進会議」は障害者自立支援法を廃止すべく順調に推進した。初めて委員の半数以上が「みんなねっと」の川崎理事長をはじめ障害当事者および家族の代表となり、制度改革に貢献した。以下に示すように、次々に制度改革を実施し、精神障がい者の100年の課題であった「保護者制度の廃止」をも達成することが出来た。また「国連障害者権利条約」への加盟を成し遂げたことは大きな進歩であった。

- ①「障害者基本法改正」(平成23年7月29日成立)
- ②「障害者虐待防止法」の成立(平成23年6月公布、平成24年10月施行)
- ③「障害者総合支援法」の成立(平成24年6月公布、平成25年4月施行)
- ④「障害者差別解消法」の成立(平成25年6月公布、平成28年4月施行)
- ⑤「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部改正」(平成26年4月施行)

精神障がい者も正式に雇用義務化の対象になる。但し、企業側の受け入れ準備が不充分等で猶予期間を設定する(平成30年4月実施)

- ⑥「精神保健および精神障害福祉に関する法律の一部改正」(平成26年4月施行)

保護者制度の廃止、但し入院時の手続きの見直し(平成28年4月まで)

- ⑦「国連障害者権利条約」への加盟(平成26年2月発効)

2. 「兵家連」の歩み

平成23年1月に兵庫県福祉センターの建替えに併せ当会も入居が認められ、新築で便利の良い事務所に移転することが出来た。また兵家連の公益性が評価され公益社団法人の資格を得た。またイギリスの訪問型家族支援の研修を重点的に行った。

- ①兵家連事務所の移転(兵庫県福祉センター6F)(平成23年1月)

新住所: 神戸市中央区坂口通2丁目1-1

- ②東日本大震災が発生(平成23年3月11日) 義援金募集、お見舞いを行う

- ③兵家連が公益社団法人の資格を得て移行した(平成24年4月1日)

- ④イギリスの訪問型家族支援の研修実施

- ・平成25年3月:メリデンファミリープログラム視察団に参加(本條会長)

- ・平成25年9月:「みんなねっと」大阪大会「イギリスにおける精神疾患への早期介入」

- ・平成26年3月:メリデンファミリーワーク研修会(神戸、京都、東京)

- ⑤精神障害者相談員の法制化を求める意見書の提出を県議会に請願し、採択(平成25年10月25日)

神戸市議会でも請願が採択(平成26年3月27日)

- ⑥本條会長が「みんなねっと」の理事長に就任(平成26年6月5日)

3. 現状の課題とこれからの進むべき道(座談会)

5年間の振り返りの後、下記の趣旨の発言がありました。

►精神科医療について、家族会は国、社会に訴えるべきだ。日本も障害者権利条約に批准したのだから、保護室や強制入院など人権上の問題として訴える必要がある。

(次頁へ続く)

(前頁からの続き)

- 精神科病院の死亡退院数の数が、月 1900 人、年間 2 万人となっている。
- 大阪で行われた全国大会の講師、イギリスのシャイアーズさんが、イギリスだけでなく WHO も動かした。家族会の励みになった。
- 「こころ・あんしん Light」は、学校の先生方に子供のしんどさとかそれをみている家族の思いを分かつてほしいという趣旨で作った。(こころ・あんしん Light (通称こあら) は児童・思春期のこころの不調を抱える子どもの家族と支援者の会)
- 統合失調症の場合、薬は一生飲み続けなければいけないというのが本当かどうかです。減薬とか言われても実際には薬は増え続けている。
- 先進国では、単剤が過半数ですよ。
- 心の健康基本法ができなかったのは、個人参加にとどまり、全国組織 (みんなねっと) として取組めなかつたことが主な原因だ。
- ひょうかれんでは超党派の精神保健研究会 (有志県会議員連盟) と連携を取っているから、進んだという面はある。たとえば全国に先駆け制定された兵庫県精神障害者相談員制度や新規発症患者の家族教室等々。
- 兵庫県と神戸市では精神障害者相談員制度の早期法制化を求める請願書が採択されて国に送られた。
- 神戸市などは全会派 (10 党・会派) から精神保健研究会に入っている。
- (教育) オーストラリアでは、「マインドマターズ」という教師の研修プログラムがあり、全員ではないが受けている。
- 兵家連では、①義務教育段階から児童生徒に対する教育②オーストラリアで行われているような教師に対する研修③自治会等地域学習会を毎年要望しているが、今後も要望していきたい。
- 日本でも島根県松江市などが取り組んでいる。実は日本でも昭和 52 年ぐらいまで精神疾患を教えていた。兵家連でも復活するよう要望している。
- 就労が進んでいない。
- その解決策として IPS モデルがある。IPS というのは、まず、一人一人個別に (インディビジュアル) 就職 (プレイスメント) させ、ジョブコーチ等の援助 (サポート) を受けながら就労させるもので、欧米ではエビデンスとして確立している。
- その IPS モデルは教育でも言える。病気が治ってから復帰ではなく、回復途上から少しづつ参加させていくことが大事。
- 又環境の方も配慮が欠かせない。
- 発達障害は教育界は熱心になってきて、先生方の理解もある程度進んでいる。それに対し精神疾患に対する理解はまだまだである。
- どうしてもしんどい時は休んでもいいよという寛容さが必要である。
- 当事者の方が暴れる前段階に必ずサインは出しますよね。早い段階で、「それはこういうふうに考えたらよい」ときめ細かなコミュニケーションをとる。
- 出前講座 何処の行政でも出前講座をやっている。出前講座をしてもらうということで招いて、こちらの話も聞いてもらう。



「ピアサポートと私」

淡路障害者生活支援センター

ピアソーター 柳 尚 孝

私とピアサポートとの出会いは、5年前に遡る。私は、統合失調症を発症して20年余りになるが、発症当時の私の絶望感たるや相当のものがあり、これから的人生に対して全く希望を見出せずにいた。発症前の自分に回帰しようと、もがき苦しんだ時期もあったが、精神に障害を負った自分でなければできない人生を送りたいと次第に考えるようになり、精神に障害を持っていなければ出来ない仕事はないかと主治医に依頼していたところ、地域活動支援センター「淡路障害者生活支援センター」にてピアソーター（地域移行推進員）の養成講座の募集があると聞かされ、ピアソーターは精神に障害を持つ人しかできない仕事ということで、右も左も判らないまま飛び込んだのが5年前になる。

ピアソーターの仕事は、社会的入院を余儀なくされている方の退院促進や退院後の地域生活の維持継続促進を精神保健福祉士と共にに行う「地域移行支援」や「地域定着支援」、地域の未受診・治療中断している方への保健師との家庭訪問である「アウトリーチ」、その他、講演活動なども行っている。

ご本人とピアソーターとの支え合いであるピアサポート活動をしていて、ご本人がどんどん元気に自分らしくリカバリー（回復）していく姿に得も言わぬ幸福感を味わえ、私自身をもりカバリーが促進されていくことが、何よりの喜びである。

ご本人ばかりではなく御家族の不安までもが解消されていくピアサポート活動は、未だ広く知られておらず未確立の活動であるが、確かな有効性を実感している。これは、ご本人を取り巻く支援者には無かった、ご本人と同じような経験・体験をしたことのある同じ立場の支援者として、ご本人がピアソーターに抱く、言葉では言い表せない信頼感・安心感が根底に存在しているからではないかと考えている。

私の夢は、このようなピアサポート活動をするピアソーターの属性が社会に確立され、経済的自立を果たせる一職種として確立していくことである。そうすれば、これからピアソーターを目指す後進の当事者の方々ばかりではなく、経済的心理的不安を抱えているすべての当事者の方々の希望に繋がっていくものと考えている。

精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター

電話番号 078-367-7210

平 日：午後5時～翌日午前9時

土・休日：午前9時～翌日午前9時

(平日昼間は健康福祉事務所へ)

◆ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げてください◆

TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から（1）



各位のご支援と地域のご理解に深謝！

NPO法人えんじえる会 理事長 大住雅昭

弊会は姫路市の西部地域(大津区)を拠点に「地域活動支援センター・就労継続支援B型」を運営しています。

「えんじえる」の始まりは平成9年です。その翌年から大津区に移転、以来この地に定着して福祉活動を続けてまいりました。17年間になります。

平成21年には行政の委託を受けて「地域活動支援センター」を開設。その後、平成26年8月に既存の事務所に増築して新しく施設棟を建設する事ができました。それに伴い同年8月から「就労継続支援B型“グリーン”」を開所して現在に至っております。

ところで、平成23年に厚労省により精神疾患が加えられ“5大疾患”的位置付けになり世間の認識・関心度が高まったかの様な印象がありました。

しかしながら、精神疾患は「何時・誰でも罹る病である」にも拘らず、他の“身体・知的”的2疾患に比べてまだ偏見が払拭されていないのが実情です。

この様な世相だからこそ「精神障がい者福祉施設」は社会的にも必要欠くべからざるものといえます。しかし施設建設時には地域住民の不同意が少なくありません。この場合は何と言っても地域の方々の正しい“ご理解と認識”が必須であり大前提であります。

この点、幸いにも弊会の創始者である故初代会長と創業時から携わってこられた施設長及び理事の方々の人望と永年の活動により、支援の輪が広がり信頼を得てまいりました。

このお蔭で地域の方々の暖かいご理解を頂くことができ、スムーズに建設竣工する事ができました。これは本当に“感慨無量”ありがたいことです。

少子高齢化に伴う“核家族化・孤独化”と“親亡き後・成年後見・親介護”等々の課題が山積です。これは何も障がい者とその家族だけの問題ではありません。今や日本国民全体の関心事と避ける事の出来ない課題であります。

こういった社会での「障がい者福祉施設」は、“居場所・相談の場・就労支援の場”ともなり、当事者とご家族にとって“これ程心強いものはない”と確信しております。

今後共、ご支援・ご鞭撻を賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。

兵家連活動日誌

役員の動き (平成26年9月~12月)

9月

- 北海道・東北ブロック大会〈青森市ねぶたの家ワラッセ〉 (本條)
- 神戸市医療福祉大学(神崎郡神崎町)山西副学長・山田教授〈神戸医療福祉大学〉 (本條)
- メリデン家族支援PT〈みんなねっと事務局〉 (本條)
- NPO法人えんじえる会「就労継続支援B型・グリーン」竣工式典〈えんじえる新センター「グリーン」〉 (本條・米)
- 平成26年度第2回理事会〈県福祉センター〉 (理事・監事・顧問)
 - 第1回兵庫県障害福祉審議会〈兵庫県私学会館4階大ホール〉 (涌波)
- 第49回レク活動発表大会〈姫路市文化センター〉 (米)
- あすなろ講演会〈三田市〉 (本條)
- 神戸女子大 上野先生・前田様来所〈兵家連事務所〉 (本條)
- 自民党神戸議員12名と意見交換会〈神戸市役所〉 (本條・涌波)
- 会誌#78編集会議〈県福祉センター〉 (涌波・米・伊東・寺田・上田・南部・坂井)
 - みんなねっと全国大会(金沢)実行委員会〈石川県精神保健福祉センター〉 (本條)
- 要望書提出〈県庁〉 (本條)
- 戸山サンライズ30周年記念式典〈戸山サンライズ(東京)〉
 - 日本障害者リハビリテーション協会50周年記念式典〈戸山サンライズ(東京)〉 (本條)
- きょうされん兵庫支部精神科病棟転換型居住系施設問題を考える会〈神戸市勤労会館〉 (涌波)
- みんなねっと中国ブロック大会〈島根県民会館〉 (本條)
- 第15回きょうだい会〈県福祉センター〉
 - 第26回全国車いすマラソン大会開会式〈篠山市役所前〉 (細見)
- 県社協第181回評議員会〈県福祉センター〉
 - 花みどりバス打合せ(障害者支援課 中村様・高田様來訪)〈兵家連事務所〉 (本條)
 - 平成26年度障害者理解促進事業「障害者週間のポスター」審査会〈県庁〉 (豊永)
 - 第26回ふれあいフェスティバル〈加古川市日岡山公園グランド〉 (南部)
 - 第2回兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議〈県中央労働センター〉 (米)
- 第14回全国障がい者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」兵庫県選手団団体〈県民会館〉 (本條・米)
- 家族教室阪神南地区(尼崎市)〈尼崎市フェスタ立花〉 (あまかれん)
- みんなねっと石川大会〈金沢歌劇座〉 (本條)
- メリデン家族支援PT〈金沢歌劇座〉 (本條)
 - 近畿ブロック代表者会議〈金沢歌劇座〉 (涌波)
- 神戸看護大 村中様來訪〈兵家連事務所〉 (本條)
- 第58回兵庫県知的障害者福祉大会〈太子町立文化会館(あすかホール)〉 (本條)
- 中播磨峰の会創立20周年記念式典(講師)〈福崎サルビア会館〉 (本條)
- 但馬地区精神保健福祉研修会(豊岡市民プラザ) (ざくろ家族会)
- 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科(講師派遣)〈武庫川女子大学〉 (河上・豊永)
- みんなねっと三役会議・理事会〈みんなねっと事務所〉 (本條)
- 社会保障審議会障害者部会〈厚生労働省〉 (本條)

10月

- 三役会議・家族会部会開催(10/1・12/3 県福祉センター) (本條・涌波・米・瀬谷崎・大倉・河上)
- 兵家連精神保健福祉講座(第1回)〈姫路市加納ビル〉 (本條・涌波)

編集後記

東日本大震災時の障害者の被災死亡率は障害のない人の2倍以上であったと言われている。よって、災害時要援護者名簿の作成が義務付けられたが未だに進捗が乏しい。最近も台風、津波、火山活動等の自然災害が多発しており避難計画の促進が望まれる。(米)
編集委員 / 涌波・米・伊東・寺田・上田・南部・坂井

KSKP

一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価五十円